

計画の名称	1 安全で安心な水環境をつくる		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	越谷市
計画の目標			

下水道施設の整備を行い、安全で安心な住環境の創出と維持に努める。

計画の成果目標 (定量的指標)	①改築対象ポンプ場の改築更新率を0% (H22) から15% (H26) に増加させる。 ②改築対象管路施設の改築更新率を0% (H22) から20% (H26) に増加させる。 ③対象区域マンホール蓋の改築率を2% (H22) から13% (H26) に増加させる。 ④下水道処理人口普及率を81% (H22) から82% (H26) に増加させる。 ⑤下水道による都市浸水対策達成率 (社会資本重点計画) を63% (H22) から68% (H26) に増加させる。		
-----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 改築・更新実施済みポンプ場の実施率 改築・更新実施済みポンプ場数 (箇所数) /改築・更新実施必要ポンプ場数 12 (箇所)	0%	5%	15%	
② 管路施設の改築更新の実施率 改築・更新実施済み区域の面積 (ha) /改築・更新実施対象区域の面積 124.9 (ha)	0%	0%	20%	
③ マンホール蓋の改築率 安全対策型のマンホール蓋 (浮上防止機能付き) 数 (基) /改築対象区域のマンホール蓋総設置基数 4,223 (基)	2%	13%	13%	
④ 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) /総人口 (人)	81%	81%	82%	
⑤ 下水道による都市浸水対策達成率 (社会資本整備重点計画) 浸水対策完了済み面積 (ha) /浸水対策を実施すべき面積	63%	67%	68%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	3,724百万円	A	3,589百万円	B	0	C	135百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.8%
全体事業費 (その他関連する事業)	合計 (A'+B'+C')	1,891百万円	A'	1,720百万円	B'	0	C'	171百万円	効果促進事業費の割合 (C+C') / ((A+A')+(B+B')+(C+C'))	5.4%

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期
下水道事業に関する越谷市社会資本整備総合交付金評価事務取扱要領に基づき、「越谷市公共事業再評価委員会委員」及び「越谷市下水道事業運営審議会委員」の中から2名に意見を求めた。	平成27年11月
	公表の方法 市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業					事業者	国費率 (基本)	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接						H22	H23	H24	H25	H26		
中川処理区 (越谷公共下水道・汚水)																
A1-1-1	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	汚水ポンプ場改築更新	長寿命化調査・計画策定・改築更新 2箇所	越谷市						333	
A1-1-2	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	管渠施設改築更新	長寿命化調査・計画策定・改築更新 60ha	越谷市						42	
A1-1-3	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	管きよ地震対策事業	調査・計画策定・管きよ耐震化	越谷市						9	
A1-1-4	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	マンホール蓋改築	582箇所	越谷市						65	
A1-1-6	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	越谷市第3-2号汚水幹線築造工事事業	φ200 L=130m	越谷市						5	
A1-1-7	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	越谷市レイクワン第9-1号汚水幹線築造工事事業	φ200 L=9.8km	越谷市						218	
越谷排水区 (越谷公共下水道・雨水)																
A1-1-8	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	越谷レイクワン排水区 (浸水対策)	□600~2000 L=2.1km	越谷市						537	
A1-1-9	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	千疋排水区 (浸水対策)	□600~1000 L=1.8km	越谷市						489	
A1-1-10	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	元荒川排水区 (浸水対策)	□2400×1900 L=0.1km (種管改築)	越谷市						51	
A1-1-11	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	中川排水区 (浸水対策)	□3700×3200 L=30.9m (雨水幹線種管)	越谷市						229	
A1-1-12	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	大場落し排水区 (浸水対策)	□700~1000 L=0.4km	越谷市						82	
A1-1-13	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	新方川排水区 (浸水対策)	□1400~1800 L=0.2km	越谷市						81	
A1-1-14	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	御料堀排水区 (浸水対策)	□600~2400 L=1.1km (管理用道路)	越谷市						827	
A1-1-15	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	蒲生愛宕川排水区 (浸水対策)	□700~700 L=0.2km	越谷市						0	
A1-1-16	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	浸水対策検討事業 (浸水対策)	浸水シュミレーション検討	越谷市						30	
A1-1-18	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	マンホール蓋改築	102箇所	越谷市						0	
新川排水区 (都市下水路・雨水)																
A1-1-17	下水道	一般	越谷市	直接	—	4/10	新川都市下水路 (浸水対策)	□3300、U3300 L=0.2km	越谷市						169	
合計												3,167				

B 関連社会資本整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計												0				

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	国費率 (基本)	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
中川処理区 (公共下水道・汚水)																
C-1-1	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	マンホール蓋改築 (枝線)	マンホール蓋改築 80箇所	越谷市						7	
新川排水区 (都市下水路・雨水)																
C-1-2	下水道	一般	越谷市	直接	—	4/10	新川都市下水路 (浸水対策)	七左エ門川・伏せ越し	越谷市						119	
合計												126				

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C-1-1 基幹事業である幹線と接続する管渠に設置されているマンホール蓋の改築を一体的に行うことにより、安心で安全な市民生活の確保を図る。

C-1-2 基幹事業である新川都市下水路工事と準用河川七左エ門川との交差部処理 (伏せ越し工事) を一体的に行うことにより、新川都市下水路の事業進捗を図るとともに新川流域の内水被害の軽減を図る。

その他関連する事業					直接 間接	事業者	国費率 (基本)	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	H22							H23	H24	H25	H26				
中川処理区 (越谷公共下水道・汚水)																		
A' 1-1-1	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	汚水ポンプ場改築更新	長寿命化調査・計画策定・改築更新 2箇所	越谷市								33	
A' 1-1-2	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	管渠施設改築更新	長寿命化調査・計画策定・改築更新 60ha	越谷市								50	
A' 1-1-3	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	管きよ地震対策事業	調査・計画策定・管きよ耐震化	越谷市								42	
越谷排水区 (越谷公共下水道・雨水)																		
A' 1-1-8	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	越谷レイクン排水区 (浸水対策)	□600~2000 L=0.4km	越谷市								0	
A' 1-1-9	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	千足排水区 (浸水対策)	□600~1000 L=0.2km	越谷市								27	
A' 1-1-10	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	元荒川排水区 (浸水対策)	□2400×1900 L=0.1km (極管改築)	越谷市								0	
A' 1-1-12	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	大場落し排水区 (浸水対策)	□700~1000 L=0.2km	越谷市								23	
A' 1-1-13	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	新方川排水区 (浸水対策)	□1400~1800 L=0.8km	越谷市								7	
A' 1-1-14	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	御料堀排水区 (浸水対策)	□600~2400 L=0.2km (管理用道路)	越谷市								479	
A' 1-1-15	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	蒲生愛宕川排水区 (浸水対策)	□700~700 L=0.3km	越谷市								32	
A' 1-1-16	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	浸水対策検討事業 (浸水対策)	浸水シミュレーション検討	越谷市								20	
A' 1-1-18	下水道	一般	越谷市	直接	—	1/2	マンホール蓋改築	102箇所	越谷市								0	
新川排水区 (都市下水路・雨水)																		
A' 1-1-17	下水道	一般	越谷市	直接	—	4/10	新川都市下水路 (浸水対策)	□3300、U3300 L=0.2km	越谷市								122	
新川排水区 (都市下水路・雨水)																		
C' -1-2	下水道	一般	越谷市	直接	—	4/10	新川都市下水路 (浸水対策)	七左エ門川・伏せ越し	越谷市								0	
												合計			835			

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

<p>I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>多方面から下水道施設の整備を行うことにより、市民に対し環境衛生の向上や、災害に強い下水道環境を提供することが出来た。</p>			
--	---	--	--	--

<p>II 定量的指標の達成状況</p>	<p>指標①（改築・更新実施済みポンプ場の実施率）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>15%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	<p>所有施設の重要度等を考慮し、優先順位ごとに事業に着手した。千間台第一ポンプ場の改築工事着手後、当初には想定できなかった埋設物への対応があり、予定外の財源や人員が必要となったため、進捗が伸びず目標達成に至らなかった。</p>
		<p>最終実績値</p>	<p>8.3%</p>		
	<p>指標②（管路施設の改築更新の実施率）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>20%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	<p>管路施設の改築更新は、施設の長寿命化事業及び耐震事業において、下水道管に起因する事故を未然に防ぐことを目的とし事業を行った。しかしながら、市全域に対する優先箇所抽出などの計画の見直しを行ったことから現場着手が遅れ、目標達成に至らなかった。</p>
		<p>最終実績値</p>	<p>11.7%</p>		
	<p>指標③（マンホール蓋の改築率）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>13%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	<p>集中豪雨など大雨時の汚水処理機能の確保や安全面を考慮し、市単独事業においても優先的に改修を行ったため目標値を大きく上回った。</p>
		<p>最終実績値</p>	<p>20.3%</p>		
	<p>指標④（下水道処理人口普及率）</p>	<p>最終目標値</p>	<p>82%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	<p>市単独事業においても事業を行ったため目標値を上回る結果となった。また、区画整理事業地を中心に下水道整備区域内の人口が計画当初より増加傾向であることも目標値を上回る要因になっている。</p>
		<p>最終実績値</p>	<p>82.8%</p>		
	<p>指標⑤（下水道による都市浸水対策達成率（社会資本整備重点計画））</p>	<p>最終目標値</p>	<p>68%</p>	<p>目標値と実績値に差が出た要因</p>	<p>本指標の目標値は、平成22年以前に実施した事業の達成率を参考に設定している。平成22年以前の事業は、主に越谷レイクワン特定土地区画整理事業地区内の整備であることから、計画的な進捗が望めた。しかしながら、越谷レイクワン特定土地区画整理事業地区内の整備が平成25年度に完了し、それ以降の事業については既成市街地の整備となったため、占用物の移設や関係機関との調整に期間や費用を要し達成率が伸びず目標達成に至らなかった。</p>
		<p>最終実績値</p>	<p>66.4%</p>		

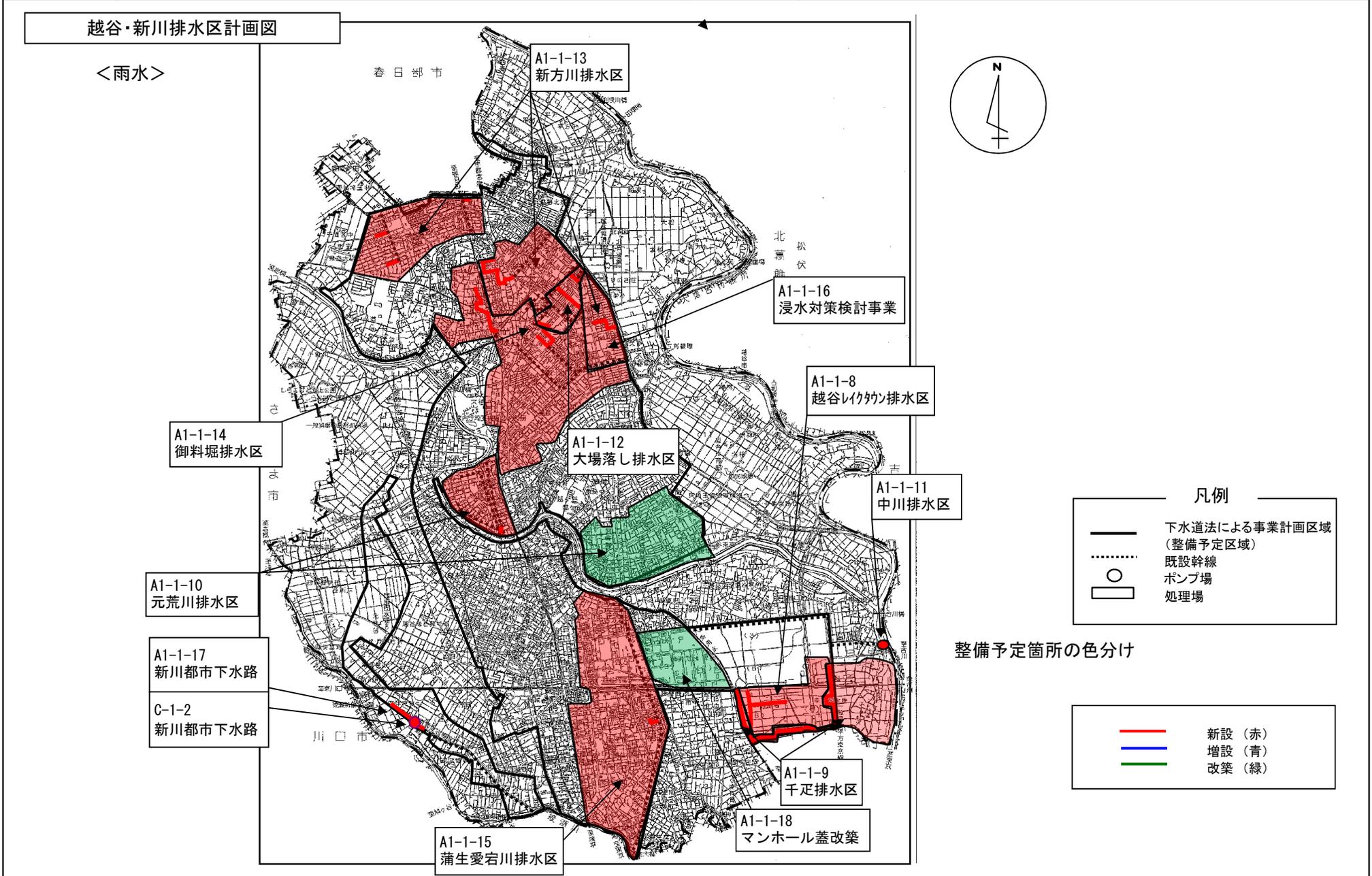
<p>III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)</p>				
--	--	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

本計画における各交付対象事業は、計画期間5ヶ年以内において基本計画の策定及び見直しを行った。しかしながら、本計画の定量的指標のうち、指標①、②、⑤であるポンプ場の改築更新、管路施設の改築更新、都市浸水対策において目標に至らなかったことから、これまでの経験を活かし各事業の更なる重点化・効率化を図りながら事業の進捗に努めていく。
また、近年の厳しい財政事情を踏まえ下水道事業の財源確保に努めるべく、適正な事業経営を行い、安全で安心な住環境の創出と維持に努めていく。

(参考様式3) (参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	安全で安心な水環境をつくる	交付対象	越谷市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

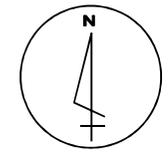
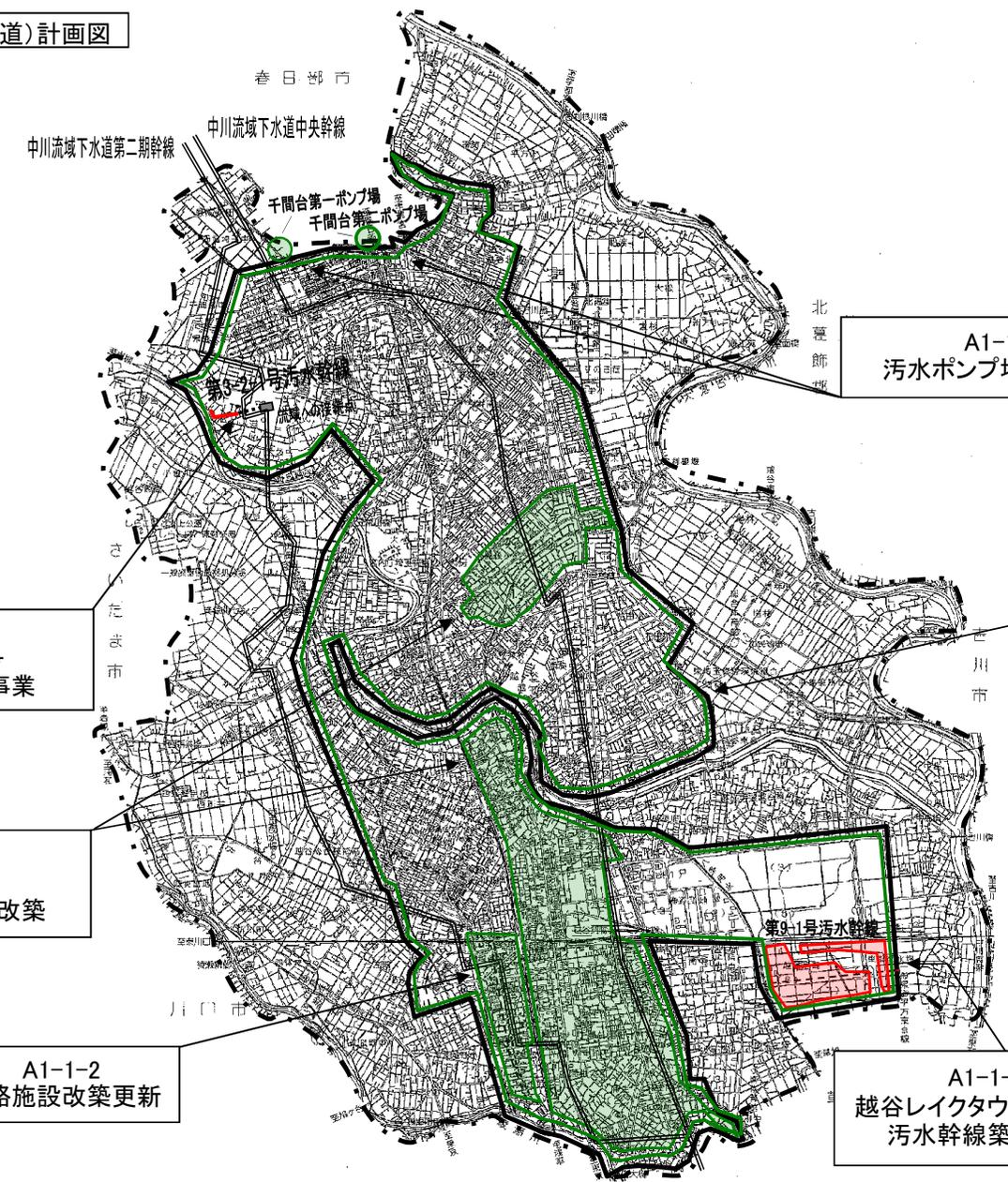


(参考様式3) (参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	安全で安心な水環境をつくる	交付対象	越谷市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

中川処理区(越谷公共下水道)計画図

<汚水>



A1-1-6
越谷第3-2号
汚水幹線築造事業

A1-1-4
C-1-1
マンホール蓋改築

A1-1-2
管路施設改築更新

A1-1-1
汚水ポンプ場改築更新

A1-1-3
管きよ地震対策事業

A1-1-7
越谷レイクタウン第9-1号
汚水幹線築造事業

凡例

- 下水道法による事業計画区域 (整備予定区域)
- - - 既設幹線
- ポンプ場
- 処理場
- · - 行政界

整備予定箇所の色分け

- 新設 (赤)
- 増設 (青)
- 改築 (緑)